



# デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.71

Newsletter of the Gunma Museum of Natural History 2018.冬・春

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。



## 第56回企画展 ぐんまちゃんをめぐる 利根川の旅

2018年3月17日(土)～5月13日(日)

### 第56回 企画展イベント

◎ **ワークショップ** (家族向け [小学生以上] …小学生は保護者と一緒に参加)

**「サケ一匹から切り身鮭まで、すべて見せます、さわれます」**

日時 3月21日(水・祝) 10時00分～12時00分

場所 当館実験室 講師 群馬県水産試験場職員 参加費 50円(保険料)

定員 30名(1ヶ月前の午前9時30分から電話で受付)

※サケをまるごと一匹、解剖して、魚のからだのつくりを学びます。「切り身鮭」「イクラ」など、普段目にする食べ物とサケとの関係についてわかりやすく学べます。

◎ **ワークショップ** (家族向け…小学生以下は保護者と一緒に参加)

**「大水上山の魅力を語るー利根川最初の一滴を体験ー」**

日時 5月3日(木・祝) 10時00分～、11時45分～、12時45分～、  
14時45分～の毎回各30分間

場所 当館実験室

講師 当館大水上山調査メンバー、群馬大学ワンダーフォーゲル部 参加費 無料

定員 各回ごとに48名(当日の午前9時30分から受付)

※利根川の源流である大水上山の魅力を共有します。また、利根川最初の一滴を体験できます。

◎ **特別展示** (カワウソ♥の人向け)

**「群馬県初公開！ おかえり前橋産カワウソ」**

日時 3月17日(土) 9時30分～12時00分、4月1日(日)と5月5日(土・祝) 13時45分～16時45分

場所 当館企画展示室 参加費 観覧料が必要 定員 なし

※国内でもとても貴重なカワウソの胎児標本(アルコール液浸)を限定公開します。

◎ **講演会** (大人向け…小学生以下は保護者と一緒に参加)

**「利根川に影響を与えた火山噴火の歴史」**

日時 4月15日(日) 13時30分～15時30分

場所 当館学習室 講師 早川 由紀夫(群馬大学教授・火山学)

参加費 500円(資料代)

定員 100名(1ヶ月前の午前9時30分から電話で受付)

※前橋市と高崎市は、利根川がつくった扇状地の上に形成された都市です。ここを流れる利根川は、赤城山、榛名山の影響を受け、2万4300年前からは浅間山の影響も受けるようになりました。火山とともに歩んだこの地域の自然史を解説していただきます。

◎ **特別体験** (未体験の人向け…経験者でもさわれます)

**「ウナギのタッチプール」**

日時 3月28日(水)～30日(金)、4月28日(土)～30日(月・振休)の  
9時30分～17時00分

場所 当館エントランススペース

参加費 無料 定員 なし

※未体験の人集まれ！「本当にヌルヌル？」



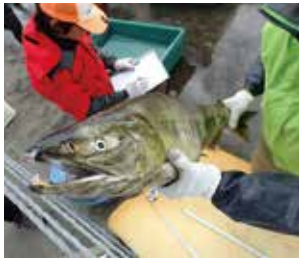
# ぐんまちゃんともぐる 利根川の旅

「利根は坂東一の川」。このふるさとの川を河口からさかのぼり源流部へ、ぐんまちゃんと一緒に旅をします。そして、過去から未来へ、自然史の視点で利根川を紹介します。

今回の目玉はズバリ「群馬にもいた！カワウソ」です。前橋産カワウソは国内でもとても貴重なカワウソ胎児のアルコール液浸標本です。こちらは公開日公開時間限定ですので、ホームページでご確認の上、ぜひこの機会にご覧ください。



利根川の最上流 6月の大水上山



利根川を遡上したサケ



タッチプール (写真は第51回企画展)

他にも利根川やその周辺の自然について紹介します。また、サケの大解剖イベント、ウナギのタッチプール、カメのお散歩などの各種イベントもあります。

(学芸係 茂木 誠)

## 自然のコラム くさいきのこ「スッポンタケ」

10月も終わりに近づいた日曜日、自然史博物館の裏側の南の山を歩いていると、スッポンタケを見つけました。「きのこ」のイメージとはほど遠い、その奇妙な姿形。そして、何と云ってもその独特のにおい。表面の網目状をした部分(グレバ)に、暗緑色の粘液をつけ、それが強い悪臭を放ちます。なぜこんなにも悪臭を放つのでしょうか。それは、このにおいでハエなどの虫をおびき寄せるためです。グレバの中には胞子があり、おびき寄せられた虫の体には胞子が付きます。その虫が飛んでいくと胞子が落ち、別の場所で発芽するのです。通常、きのこの胞子は風で飛ばされたり雨で流されたりして発芽します。虫を利用するスッポンタケの生き抜く知恵には感心します。すぐ側に、スッポンタケの幼菌があったので、割ってみました。確かに、大きく成長したらスッポンタケになるのだらうと思え、何だかかわいらしく見えました。文献では、スッポンタケは中華風のスープの具材として食べられるとのこと。あの悪臭をかいた後

に食べてみようとはなかなか思いませんが、いつか挑戦してみたいです。(野生のきのこには、毒のあるものが多くあります。食べる場合は自分で判断せず、必ず専門家の意見を聞いてください。)

(学芸係 伊藤 智史)



写真1 スッポンタケ



写真2 スッポンタケの幼菌の断面

### 参考文献

1. 山溪カラー名鑑 日本のきのこ 山と溪谷社
2. たのしい自然観察 きのこと博士入門 全国農村教育協会

2017年から2019年まで第4次尾瀬総合学術調査（以下尾瀬総合調査）が行われます。尾瀬総合調査は1995年～1998年に行われた第3次調査以来です。今回の尾瀬総合調査は、尾瀬の生き物のリストづくりや植生調査を行い、シカの影響など生き物の変化をとらえてモニタリング体制を構築する「基礎研究部会」と、尾瀬の基盤を作る地形や泥炭の解析を行い、水や栄養塩類の動きや生態系を把握して、気候変動による尾瀬の環境変化を予測するための調査研究を行う「重点研究部会」の2つの大きなグループから成り立っています。

群馬県立自然史博物館からは3名のスタッフがこの調査に参加しています。その中で筆者が実行役員として参加している基礎研究部会の生物インベントリー調査について紹介します。生物インベントリーとは、ある地域の生物を網羅的に調査し、得られた標本や観察・計測データをもとに、生物のリストや分布情報を作る調査のことです。今回の尾瀬総合調査では維管束植物や昆虫の一部、コウモリなどのリストの作成や更新を行います。なぜ、今あるリストや分布

情報を更新するのでしょうか。過去の調査が手薄な地域や分類群の情報を集めるだけはその理由ではありません。過去の尾瀬総合調査で作られたリストはその当時の生物学的な知見で作られました。これをDNA解析など生物学の進歩によって明らかになった最新知見と照合して、現在の分類体系や分類群の取り扱いに合わせることも大きな目的です。また、リストや分布図を更新することで外来種の侵入や希少種の減少なども知ることができます。

尾瀬総合調査では当館の収蔵資料も生物リストの証拠として活用されます。さらに今回の尾瀬総合調査で集められた資料や写真の一部は当館の新たな収蔵資料となる予定です。前回の尾瀬総合調査が始まった当時、当館はまだ開館前でした。それから20数年後の今、当館は地元の研究機関としてスタッフが尾瀬総合調査に参加し、そこに収蔵された資料が研究されるとともに、調査の証拠資料を受け入れ後々の研究材料を提供するという将来に向けた役割も担っています。

（学芸係 大森 威宏）

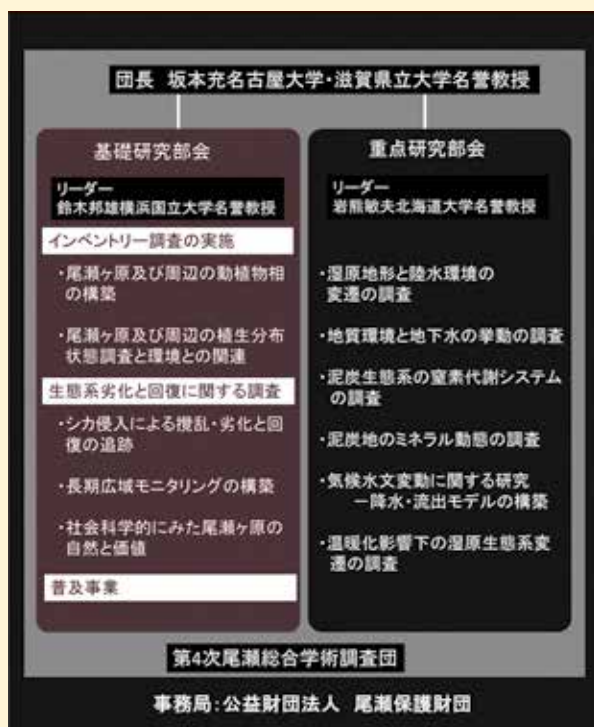


図1 第4次尾瀬総合学術調査の体制



図2 池塘の水草を採取する基礎研究部会水生植物班（新潟・福島・群馬合同チーム）

# 教員のための博物館の日

—わくわく・ドキドキ・新発見！ 授業のヒントが見つかる—

国立科学博物館、教材教具社と連携し、体験活動や講演会を充実させ、「授業に役立つ研修会」を実施しました。内容は、国立科学博物館担当者による講演会・体験活動、当館教育普及係員による体験活動・博物館の効果的な活用方法の紹介、教材教具社による最新実験器具・教材等の紹介です。また、当館の展示資料を活用した魅力的な指導法についても提案しました。参加した先生方の満足度は100%（アンケート調査より）で、実り多き研修会となりました。

期日：平成29年8月3日（木） 時間：10時00分～15時00分 場所：群馬県立自然史博物館

	国立科学博物館	国立科学博物館	自然史博物館	自然史博物館	自然史博物館	教材教具社
	授業に役立つ！ 博物館入門「展示と児童生徒をつなぐ学習支援活動紹介」	かはく スクールプログラム！ 骨ほねウォッチング	体験しよう！ 火山灰から宝石探し	出かけよう！ 授業と展示物をつなぐ旅	知っていますか！ 博物館の効果的な活用法	おすすめです！ 授業に役立つ実験器具・教材
10:00	10:00～10:30		10:00～12:00		10:00～12:00	10:00～12:00
11:00		11:00～12:00		11:00～11:45		
12:00	休 憩					
13:00	13:00～13:30		13:00～15:00		13:00～15:00	13:00～15:00
14:00		14:00～15:00		14:00～14:45		
15:00						

## 【成果】

- 本研修会に参加していただくことで、当館の「教育用貸出資料」や「出前授業」、「効果的な活用法」等について、周知及び理解していただくことができた。
- 本研修会を通して、学校現場における指導上の課題や要望、当館として協力することができる内容等を把握することができた。
- この研修会を通じて、国立科学博物館や他連携機関とつながりを持つことができた。

## 【課題】

- 参加者の所属は、「小学校21名」「中学校48名」「高等学校1名」「その他3名」であった。当館に来館する学校のほとんどが小学校であることを踏まえると、小学校教員にもっと広く周知してもらう必要がある。
- 今後の開催に向けて、多くの教職員が毎年参加したくなるような研修内容を検討していく必要がある。
- アンケートの調査結果を十分分析し、来年度以降の開催に向けて活かしていく。



講演会



体験活動



実験器具等の紹介

（教育普及係 武井 郁也）

## 利用案内

■開館時間 午前9:30～午後5:00（入館は午後4:30まで）

■休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

■観覧料

	一 般	高校・大学生
常設展のみ開催	510円 (410円)	300円 (240円)
第56回企画展開催時 (H30.3.17～5.13)	610円 (480円)	300円 (240円)

※中学生以下、身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及びその介助者1名は無料となります。

※（ ）内は、有料者20名以上の団体料金となります。

群馬県立自然史博物館だより  
Demeter No.71

編集・発行 群馬県立自然史博物館  
〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1  
Tel.0274-60-1200 Fax.0274-60-1250  
ホームページ  
<http://www.gmnh.pref.gunma.jp/>



Demeterは、地球環境保全のため植物油インクを使用しています。